

教育・保育理念

- ・自分も友だちも大切にできる心の育成
- ・学びの芽の育成
- ・自分の可能性や能力を十分に発揮できる力の育成

園の重点項目

一人一人の違いを認め合える関わりを大切に、様々な経験を通して仲間とともにあそびを楽しみ主体的に生活する力を育てる

令和7年度 重点内容

- ・主体性と自己肯定感を育む
- ・仲間とともにあそぶ中で、しなやかな体づくりと学びに向かう力を養う
- ・小学校と連携し、学びと育ちをつなげる
- ・地域とのつながりを深める
- ・職員の資質向上をめざす

重点内容	重点内容に向けた具体策	評価項目	自己評価	こども園関係者評価
主体性と育む自己肯定感	大人との愛着関係や安心感のもと、人を信頼し生きていく力の土台の形成と自己肯定感を育む	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の発達状況を職員間で共有し発達保障を行うとともに、こどもの気持ちに寄り添い安心して過ごせるようにする ・こどもの人権を大切に温かいまなざしと丁寧な関わりを通して信頼関係を築き、自己肯定感を育てる 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・いつもこどもの心に寄り添った指導をしていて感心しています。 ・発達などに応じた遊びやかかわりなどわかりやすく説明されていました。また遊びと学びのバランスもとれていると感じました。 ・やってみたくいことをみんなで考えるなど主体的に取り組める工夫を実施しています。 ・やってみたくいことに取り組み、「できた」と思えるように価値づけることにより、自己肯定感を育てることができています。
	人との関わりの中で相手の気持ちも受け止めながら自分の気持ちをコントロールする力、ルールを守る力を育てる	<ul style="list-style-type: none"> ・素直に思いを表現できるよう受けとめや見守りをし、相手の思いを知らせて自分の気持ちに折り合いをつけていく経験を大切にします ・異年齢交流を継続的にし、憧れの気持ちやいたわりの心を育む 	A	
	仲間とともに楽しさを共感し、互いのことを認め合える友だち関係をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・多文化共生保育や特別支援保育を通して育ちあえる働きかけを大切にします ・楽しいあそびや生活を通して互いのことを認め合える関係づくりを行う 	A	
養いで仲間と学びながら、心も体も元気に育む	安心して生活できるようにあたたかく関わり、基本的な生活習慣を身につけていくようにする	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもの成長を保護者と共に喜びあう中で次の発達段階に応じた働きかけを伝え、生活習慣の確立を継続的に行う ・栄養士や調理担当と連携して食育活動に取り組み食べる喜びや意欲を育てる 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな体験から経験や発表など、自己主張しあうことが、みんなの気持ちがわかることが大事だと思います。 ・こどもたちの体験を生かした食育活動に取り組んでいて、とても素晴らしいと思います。 ・大根を収穫してからクッキングをして、その後ごっこあそびで振り返るなど、自分でやってみようと思えるように環境を整えられていて素晴らしいと思います。
	よく見て、よく聞き、しっかり考え、意欲的に遊べる力を育てる	<ul style="list-style-type: none"> ・菜園活動に取り組み自然物に触れて遊ぶ中で様々な学びを保障する ・こどもの探求心を引き出す関わりや夢中になり遊びこめる環境を整える ・体幹を育てるリズムあそびや運動等に取り組み、しなやかな体づくりをする 	B	
	楽しんで体を動かして遊べる活動を十分経験できるようにする	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭での遊び方や約束ごと等こどもへの安全教育を行い、個人差を配慮して事故防止に努める 	A	
小学校と連携し、学びと育ちを円滑に繋げる	就学に向けて育てたい力を目標に、教育・保育内容の充実を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・「幼児期に育てたい10の姿」を意識しこどもがわくわくする教育・保育内容を計画し、こども主体の対話的な実践を展開する ・小学校と連携し散歩や災害訓練等で園児が小学校を訪問する機会をつくる ・小学校職員と情報共有して園児の学びと育ちを円滑な接続につなげる 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、来年度も相互参観を実施したいです。先生方がこどもたちの主体性を大切にしていることがよくわかりました。小学校でも同じように主体性を育みたいですね。小学校との連携もどんどん進めたいと思います。 ・就学に向けた力の育成を目標に実践が行われていることはこどもたちの成長につながっていると思います。今後も小学校や他園との連携がさらに深まることを期待します。
	園児も職員も小学校への理解を深め、学ぶ機会をつくっていく		B	
地域とのかかわり	地域との取り組みや行事にできるだけ参加して、地域の方々と触れ合える機会をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の関係機関等と連携や協力を図り、公園ひろばやサロンに4、5歳児が参加し地域の方とのつながりを大切にする ・様々な子育て支援事業を行い、専門性を活かした保育の提供や相談対応を行う 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も園児が地域の方と直接関わる機会が充実することを期待します。
	地域の施設をできるだけ利用し、地域のことを知る機会をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・遊歩道から電車や車を見たり公園や小学校、図書館、ちょっとパン等の施設を利用して地域の方と関わり、地域が大好きと思えるようにする 	B	
職員一人ひとりの資質向上	職員一人ひとりがより良いこども園づくりと教育・保育内容の向上をめざし、お互い学びあう姿勢を持つ	<ul style="list-style-type: none"> ・理念や方針、教育・保育課程や指導計画について職員同士が共通理解し、研修などを通して自己研鑽を積極的に行う ・実践を振り返ることを大切に、公開保育や研修等で学びを深め自己評価を通して質の向上を行う 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・保健師や栄養士も一緒に教育保育を取り組んでいるのがいいと思います。 ・小学校との連携を密にして、相互参観や研修に取り組みたいです。 ・研修等に取り組まれていることは心強く感じています。引き続き学びの成果を教育保育に反映していただけることを期待します。

今後の取り組むべき課題

課題	具体的な取組方法	園長より
基本的生活習慣の確立	乳児期の自我も受け止めながら、自分でできたことの自信へとつなげていく。こども一人ひとりに合わせて、保護者とともに看護師・栄養士・調理師など他職種とも連携し、基本的生活習慣の確立をめざす。	こどもの意見を尊重し、こどもが自分で決定するよう取り組むことで、こどもが主体的、意欲的に活動できるようにしてきました。また保護者の方にもその様子をキッズビューで配信し、こどもの活動や成長を共有してきました。今後も家庭と地域と連携し、こどもの育ちをつないでいきます。一年間、ご理解ご協力ありがとうございました。
生活やあそびに見通しをもち、自分で考えて意欲的に行動できるようにする	こどもが見通しを持ちやすいように、絵や写真などの視覚支援物を使ってわかりやすく掲示したり、幼児では時計も活用しながら教育保育の環境を整え、一人ひとりに応じた援助をしていく。その中で自分で考えたり、自分の思ったことを言うなどそれぞれの意欲を育み、自信につなげていく。	

